（様式１）

学校番号	中等１	学校名	茨城県立勝田中等教育学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

創造、協働、挑戦

学校の教育目標

グローバルな視野と起業家精神を兼ね備え、自ら人生を切り拓くとともに、「地域」と「世界」をつないで地域創生に貢献するグローカルリーダーを育成する学校

生徒の実態

・市内及びその近隣市町村から通学する生徒が中ではあるが、広範囲から通学しており出身中学校数は多い。
・素直で真面目な生徒が多く、90%以上が四年制大学への進学を希望していることから、熱心に学習に取り組む生徒も多い。
・探究を軸とした活動に取り組むことで、様々なコンテストや検定試験への積極的な姿勢がみられる。部活動でも多くの生徒が活発に活動している。

保護者の願い

・自分の行動規範において、的確に善悪の判断ができ、周囲に惑わされない自立的な人格の形成。
・他人に対する思いやりと感謝の気持ちの涵養。
・生命の尊厳を深く自覚し、自他の生命を大切にする態度の陶冶。

道徳教育重点目標

① 基本的生活習慣を確立し、節度を守り抑制に心がけ、心身の調和のある生活の実現に努める。
② 他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって接する。
③ 生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
④ 遵法精神についての理解を深め、自他の権利を尊重し、義務を確実に果たして社会秩序の維持、向上に努める。

地域の実態

本校の位置する旧勝田地区は、工業都市である。会社員世帯が多く、教育熱心な地域環境にある。

各教科・科目

国語	様々な文章を読んだり、書くこと・話すことを通して、豊かな心情を養うとともに、多様な価値観についての見識を深める。
地歴	歴史を学ぶことで、人類の教訓を会得し、地理を学ぶことで環境の中の自己に気づかせる。これらを柱に現実の社会の適応能力を育成する。
数学	基礎・基本の徹底により、社会人として最低限の数学的考え方を身に付ける。
理科	生物の成り立ちや、この世界の物理的科学的法則などを学ぶことで、自己の存在の意味を理解し、確かな認識力を基本に生活する態度を育成する。
保体	お互いに尊重しあって、練習・ゲームに取り組みさせ、体力の向上を図り、明るく豊かな生活が送れる態度を育成する。
芸術	芸術を通して情操を豊かにはぐくむとともに、長い人生を通して芸術とともに歩める人生を目指す。
外国語	英語を通して異文化への理解を深め、人種・民族・宗教の違いによる差別、偏見をなくし、共存共栄の国際社会を築いていく礎とする。
家庭	家族：親子関係を考える。高齢社会を考える。保育：男女交際から妊娠・出産・育児を通じて、命の大切さを考える。　食生活：心の健康を食生活を通して考える。 消費生活：消費生活を通して、循環型社会の実現を目指す。 衣生活：TPOを考えた服装を考える。
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技術を通して、情報に関する科学的な見方、考え方を養うとともに、情報に関する正しいマナー・モラルの考え方を身に付ける。
総合的な探究の時間	人間としての在り方生き方を考え、また、自分を振り返りながらより良く生きていく気持ちを養う。さらに、グループ学習での協働作業を通して、視野を広げるとともに他者理解を深めていく。
専門	開講科目なし

特別活動

ホームルーム活動

①何事にも誠意を持って取り組める生徒を育成する。
②正しい判断力を持ち、自分の個性や能力を伸ばす努力の出来る生徒を育成する。
③他人に対する思いやりの心を持つ生徒を育成する。
④社会や学校等のルールを守ることが出来る生徒を育成する。

【生徒会活動】生徒会活動を通して、自主性を養い、自他の敬愛と協力によってよき公民としての資質を高め、併せて校風の向上を図る。
【学校行事】様々な学校行事を通して、協調性、社会性、豊かな人間性を養う。
【部活動】部活動の振興により健全な心身を鍛練する。

公民科

公共

●現代の問題を取り上げ、「自分とは何か」また、「他者とどう関わっていくか」を考え、公共性を育成していく。

生徒指導

・時間を守る、身だしなみを整えるなど、規律ある生活態度を育成する。
・より良いあいさつ、礼儀作法を会得する。
・自分を大切にする心と、他者を思いやる心を育成する。

家庭との連携

・ＰＴＡ広報誌「たらさき」などを通して広報活動をする。
・道徳教育の意義についての啓発運動を推進する。
・保護者と教職員が共に登校指導を行う。

地域社会との連携

●地域における行事やボランティア活動に参加し、支援する。
●公開授業や学校行事への参加・協力を依頼する。
●市役所と連携した活動を通して、地域貢献に取り組む。